

微生物検査学実習

単位数：2単位(90時間)

責任者：香取 尚美
学年・学期：第2学年・前期/後期

◆一般目標(GIO)

糞便や尿、咽頭検査が実施出来る様、消化器疾患や尿路感染症の病原体について特性や特徴について理解する。各病原体の検査法を学び、菌種同定に必要な技術を習得することを目的とする。

◆到達目標(SBOs)

1. 実習で用いる消毒薬の有用性について説明することができる。
2. 粉末培地を使用し、培地を作製できる。
3. 平板培地及び試験管培地に培養することができる。
4. 溶血環の判定ができる。
5. 特殊染色を必要とする菌について理解と染色手技ができる。
6. グラム染色の手技が出来、且つその形態を読み取ることができる。
7. グラム陽性球菌の同定手順（検査手順）を理解し、同定できる。
8. グラム陽性球菌の生化学的性状、特徴を理解することができる。
9. グラム陰性桿菌の生化学的性状、特徴を理解することができる。
10. グラム陰性桿菌の同定手順を理解し、同定することができる。
11. 咽頭検査を実施できる。
12. 尿検査を実施できる。
13. 嫌気性培養について説明することができる。
14. 糞便検査を実施できる。
15. 真菌の培養及びスライドカルチャーを行い、微細構造の観察ができる。

◆学習方法

実習書を中心にを行い、主に菌の同定方法について理解する。必要に応じて、プリント・資料を配布する。

◆評価方法

出席・レポート・態度・実習内試験（実技試験を含む）で総合的に評価する。

◆教科書

臨床検査学講座『臨床微生物学』 松本 哲哉 編 医歯薬出版(株)

◆参考書

月刊メディカルテクノロジー別冊 染色法のすべて 赤尾 信吉 他著 医歯薬出版(株)

◆教員紹介

担当教員は病院での勤務経験に基づいて、臨床検査技師養成に向けた授業を展開する。

回数	項目	講義内容	担当
1 2	一般的注意事項	白金線・白金耳作製、無菌操作の方法	香取
3 4	滅菌と消毒	手指消毒、使用器具・培地の滅菌方法	〃
5 6	培地	培地作成と培地基材	〃
7 8	細菌の培養	平板培地・性状確認培地等への培養	〃
9 10	球菌の同定① 〃 ②	グラム陽性球菌の同定。 及び未知検体の同定	〃
11 12	〃	〃	〃
13 14	球菌の同定③	〃	〃
15 16	〃	〃	〃
17 18	桿菌の同定① 〃 ②	グラム陰性の好気性菌・通性嫌気性菌の 同定及び未知検体の同定	〃
19 20	〃	〃	〃
21 22	桿菌の同定③	〃	〃
23 24	〃	〃	〃
25 26	桿菌の同定④	〃	〃
27 28	〃	〃	〃
29 30	桿菌の同定⑤	咽頭細菌の分離培養・同定	〃
31 32	〃	〃	〃
33 34	尿の検査法	尿路感染症検体の分離培養・同定	〃
35 36	〃	〃	〃
37 38	糞便の検査法 嫌気性培養法	糞便を用いて分離培養・嫌気培養及び同定	〃
39 40	〃	〃	〃
41 42	真菌の検査法	身近に存在する真菌の培養、また病原性 真菌の培養(スライドカルチャー)と観察	〃
43 44	薬剤感受性試験	寒天平板拡散法による薬剤感受性試験	〃
45 46	実技試験 ペーパー試験	検査学実習全般に対して実技と知識の 確認の為に総合的に試験を行う	〃